



Nishikie Kindergarten

Phone 63-2038 Fax 63-2034

はじめてが いーっぱい

さんりんしゃが進み始めました。(^ _ ^) よろしくお祈いします。
4月に入園してきた3歳児さん、進級した年中・年長さん！それぞれ初めてのことがいーっぱいです。特に3歳児さんは、お友だちやお兄さんお姉さんと一緒に生活すること自体が初めての事です。子どもにとって一つ一つがとても新鮮でワクワクさせるものなのです。(子どもの主体的な活動)

子どもが何か新しい発見をして、息をはずませてお母さんのところへ報告に走ります。ところがそれを聞いたお母さんにとっては、10年も20年も前からよく知っていること、あたり前のチンプなことにすぎません。そんな時のお母さんの反応は何と頼りないことでしょう。

しかし、ここで「待てよ」と考え直してみたいのです。子どもにしてみれば、全く初めての経験、初めての発見です。それは心おどる遊び体験です。その価値は人から教えられた知識とくらべものになりません。将来の学習意欲の大切な芽です。それを摘み取ってしまうようなお母さんの生返事こそ、有毒ガスのようなもの。

子どもの新しい経験や子どもの発見、子どもの思いつきや子どもの工夫など、それは大人からみればたわいのないことかもしれませんが、子どもにしてみれば、大事件です。スリル満点のこのような新しい遊び経験を、親が共鳴し共感を示してやることによって、子どもの今後の向学心へとつながるとしたら、親として見逃せないことです。

であれば、子どもの心を躍動させること、子どもの魅力や興味や関心を呼びさますような言葉をかけることによって、子どもにやる気を起こさせる動機づけになるような気がします。

そしてまた、お母さんのじれったい気持ちも(早く、早く)解消できるかもしれませんね。



園日より「さんりんしゃ」は、保護者と職員(園)が協力して、子どもたちを後押ししていくことを願って、さんりんしゃという名前にしましたが、今年も園長としての思いや保護者の皆さんに考えてほしいこと取り組んでほしいことなどざっくりと書いていきます。ご愛読いただければと思います。なお、クラスの様子はクラス便りでお知らせしていきます。よろしくお祈いします。<(_)_>

一人一人の子どもたちの成長を見守って いくために

わが子をよその子とくらべるのでなく、「その子をその子とくらべる」ことの重要さということ。子どもはどの子も、その子なりの進歩や発達を続けているものです。早いおそいか個性の違いはあっても、とにかく「発達」という現象は起こっているのです。それが見えなくなるのは、よその子とくらべるからです。よその発達の早い子とくらべると、わが子がおそいように思われて、不安や不満が起こります。同じ速度で走っている隣の電車は止まっているように見え、こちらが早ければあちらは遅れて見えあちらが早ければこちらは遅いと見えるのと同じ理屈です。自分の子どもを、よその子どもとくらべることは、親として避けられないことです。くらべまいと思っても、いつの間にかくらべているのです。

そして、優劣とか遅速とかがつきものになり、あせりや不安が伴ってくるのです。

親として心しておかなければならないことだと思えます。ゆっくりゆっくり自分のペースで！



何色の水をつくろうかなあ



ボタンが上手くかからない



ハサミも上手に使えるよ



芽がでるかなあ

会長

町島 玲美さん

副会長

橋口ちひろさん

会計（書記）

大脇 未希さん

家庭教育

手塚 美佐江さん

鶴田 桃子さん

今年度もよろしく

お願いします (^_^)



笑顔がまぶしい！

PTA理事のみなさん